

第 20 章

衛 生

第 20 章 衛 生

医療施設・病床の概況

平成 17 年 10 月 1 日現在の医療施設総数は 1 万 3965 施設で、前年に比べ 13 施設の減少である。これを種類別にみると、病院総数は 552 施設で、そのうち一般病院が 512 施設(構成比 92.8%)で大半を占め、以下精神病院 40 施設となっている。なお、人口 10 万対の病院総数は 6.3、一般病院で 5.8、1 施設当たりの人口は、病院総数で 1 万 5973 人、一般病院で 1 万 7221 人である。また、一般診療所数は 8116 施設で、前年と比較すると 2 施設の減少、人口 10 万対の一般診療所数は 92.2 で、1 診療所当たりの人口は 1086 人である。歯科診療所数は 5297 施設で、前年に比べ 8 施設の減少、人口 10 万対の歯科診療所数は 60.2 で、1 診療所当たりの人口は 1665 人である。

全施設の病床数は 11 万 4604 床で、前年に比べ 1638 床の減少である。人口 10 万対の病床数は 1302 床で、全病床数のうち 96.6% が病院、3.4% が一般診療所の病床(3928 床)である。また、病院病床の種類別では、一般病床が 6 万 4910 床で最も多く、以下、療養病床が 2 万 4539 床、精神病床が 1 万 9834 床の順となっている。

死亡の概況

平成 18 年中の府内の死亡数は 6 万 9007 人で、7 分 37 秒に 1 人亡くなったことになる。人口千対の死亡率は 7.8 で全国の 8.6 と比較すると低い方である。

主要死因別の順位を見ると、第 1 位は悪性新生物 2 万 2871 人

(構成比 33.1%)、以下、心疾患 1 万 0709 人(15.5%)、肺炎 7118 人(同 10.3%)、脳血管疾患 6532 人(同 9.5%)、その他の呼吸器系の疾患 2258 人(同 3.3%)、不慮の事故(3.0%)、自殺(2.8%)の順となっている。

感染症・食中毒・結核患者数の概況

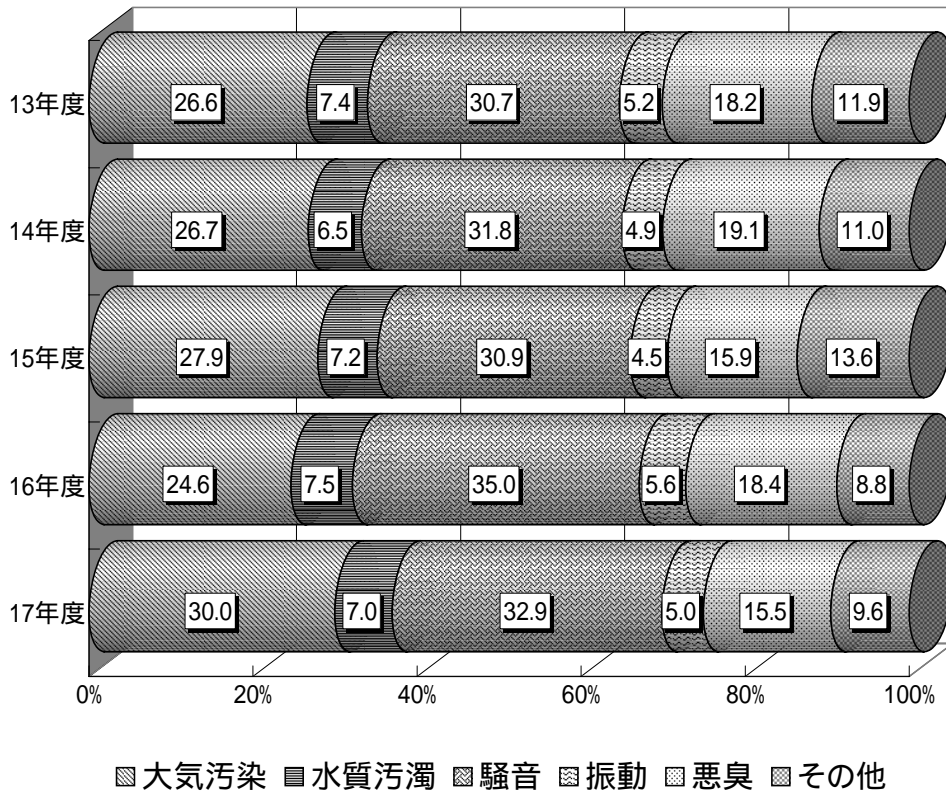
平成 18 年中で最も患者数が多いのは、食中毒患者 4084 人で 2 人が死亡している。次いで結核患者 3180 人、腸管出血性大腸菌感染症患者 262 人の順になっている。

公害の現状

府内の環境問題については、依然として都市・生活型公害や廃棄物の克服が課題であり、また、二酸化炭素の大量排出に伴う地球温暖化現象に代表されるように、ダイオキシン類等有害化学物質問題等、多様化・複雑化した諸問題への対応が求められている。一方、緑豊かな生活環境の実現や個性を生かした都市景観の創造、さらには文化や伝統も視野にいれた、より質の高い環境を保持し創造していかなければならない状況にある。

なお、平成 17 年度の本府及び市町村が新規に直接受理した公害苦情件数は 4975 件で、前年度に比べ 649 件(15.0%)の増加となった。このうち騒音に関するものが 1638 件(構成比 32.9%)で最も多く、以下、大気汚染 1491 件(同 30.0%)、悪臭 773 件(同 15.5%)の順となっている。

公害の苦情件数割合の推移



主要死因別死亡割合（平成18年）

